

1990年代の大学情報入試の動きについて

中山 泰一

電気通信大学大学院情報理工学研究科

nakayama@uec.ac.jp

1993年5月の産業構造審議会情報産業部会情報化人材対策小委員会の最終報告は、大学入試科目の一つとして情報の科目を追加することを求めている。また、大学入試センターは、1994年6月に職業教育を主とする高等学校の生徒に向けて「情報関係基礎」を出題することを公表し、1997年度の大学入試センター試験から実施している。本稿では、1990年代の大学情報入試の動きについて述べる。

1. はじめに

2022年度から高等学校で実施されている学習指導要領では、情報科は、情報の科学的な理解に重点を置き、「情報Ⅰ」を必修科目とした上で、その発展的内容を扱う「情報Ⅱ」を選択科目として設置している。また、2025年の大学入学共通テストから、情報を出題教科として、「情報Ⅰ」をその科目とすることとなった⁽¹⁾。個別入試においても、新たに情報の科目を出題することを公表する大学が現れている⁽²⁾⁽³⁾⁽⁴⁾。大学情報入試が注目されている状況である。

いまから30年前、1990年代にも、大学情報入試に関連する動きがあった。普通科の高等学校に情報科が設置される前であったが、職業教育を主とする高等学校に情報の科目が設置されるようになっていた。職業教育を主とする高等学校の生徒に向けて大学入試センター試験の科目「情報関係基礎」⁽⁵⁾の出題が始まったのがその頃である(図1)。

本稿では、1990年代に大学情報入試に関連してどのような動きがあったかについて述べる。

2. 産業構造審議会情報産業部会情報化人材対策小委員会の最終報告

産業構造審議会は、通商産業省(現在、経済産業省)が所管する審議会である。1993年5月に、産業構造審議会情報産業部会情報化人材対策小委

員会最終報告が公表されている。報告書は国立国会図書館東京本館議会官庁資料室で閲覧できる。(通産省公報⁽⁶⁾にも全文が掲載されている。以下、文献⁽⁶⁾の抜粋。)

情報科目の設置

欧米等の教育カリキュラムの現状も踏まえ、我が国においても、初等・中等教育段階で、情報教育を専門に行う科目を設けるとともに、高校及び大学入試科目の一つとして加えていくことを検討すべきである。

初等・中等教育に情報の科目を設置するだけでなく、高校と大学の入試科目の一つとして情報の科目を追加することを求めている(筆者が現時点で知る限り、国の審議会で、入試への情報の科目の出題に言及しているのは、これが最初である)。

1994年の情報化白書⁽⁷⁾においても、初等・中等教育への情報の科目の設置と入試科目への情報の科目の追加が記載されている。

普通科の高等学校に情報科が設置されたのは、10年後の2003年度からである。職業教育を主とする高等学校では、3章で述べる通り、1994年度から家庭科に「家庭情報処理」、農業科に「農業情報処理」、工業科に「情報技術基礎」、商業科に「情報処理」、水産科に「水産情報処理」、看護科に「看護情報処理」が設置されている。

1985年度	1997年度	2006年度	2016年度	2024年度
工業数理		工業数理基礎		
簿記会計Ⅰ・Ⅱ	簿記	簿記・会計		
	情報関係基礎			

図1 職業教育を主とする高等学校の生徒に向けた大学入試センター試験の科目の設置の状況
(1985年度から1989年度は共通第1次学力試験、2021年度から2024年度は大学入学共通テスト)

3. 大学入試センター試験への「情報関係基礎」の出題

1985年度から共通第1次学力試験の科目に職業教育を主とする高等学校の生徒に向けて「工業数理」と「簿記会計Ⅰ・Ⅱ」が出題され⁽⁸⁾、大学入試センター試験に移行してからも出題された。

大学入試センターでは1994年度から高等学校で実施される学習指導要領に対応した出題科目を検討し、1994年6月15日に公表している⁽⁹⁾。職業教育を主とする学科等における専門教育に関する新しい科目として、1997年度から「情報関係基礎」が出題されることとなった(以下、文献⁽⁹⁾の抜粋)。

職業教育を主とする学科等における専門教育に関する科目

「工業数理」「簿記」及び『情報関係基礎』を、数学のグループ②の「数学Ⅱ」及び『数学Ⅱ・数学B』と並置出題し、選択解答の対象とする。(説明)

職業教育を主とする学科等における専門教育に関する科目の出題について、現行のセンター試験では、「工業数理」、『簿記会計Ⅰ』・『簿記会計Ⅱ』の2科目を「数学Ⅱ」と並べた選択科目として取り扱ってきたことから、「工業数理」及び「簿記」を数学のグループ②における選択科目として並置出題する。

また、新指導要領においては、社会の進展とその情報化への対応が特に重視され、専門教育に関する教科である「家庭」「農業」「工業」「商業」「水産」及び「看護」の6教科において、いずれも情報に関する科目が設置されており、これらは、原則として履修させること、あるいは努めて履修させることが望ましいとされている。さらに、新設された総合学科においても「情報に関する基礎的科目」が原則として履修させる科目として設定されていること等から考えて、これらに共通する内容の『情報関係基礎』を新たに数学のグループ②における選択科目として並置出題する。

(参考) 情報に関する科目

家庭科：「家庭情報処理」

農業科：「農業情報処理」

工業科：「情報技術基礎」

商業科：「情報処理」

水産科：「水産情報処理」

看護科：「看護情報処理」

また、同じ日付で、文部省高等教育局長通知⁽¹⁰⁾が発出されている。この通知では、各大学が実施する個別試験について、「商学、工学、農学、水産

学、家政学、看護学等に関する大学・学部で、その目的、特色、専門分野等の特性からみて適当と認められる場合には、前記二に掲げる教科の一部に代えて、職業に関する教科を出題し、又は地理歴史、公民、数学若しくは理科の科目に職業に関する基礎的・基本的科目を加え、選択解答させることが望ましい。」と定めている。

この通知を受け、たとえば、弘前大学理工学部電子情報システム工学科では、1997年度から2001年度まで「情報技術基礎」を出題していた。

4. おわりに

2016年度の大学入試センター試験の出題教科・科目等の検討に際して、いくつかの科目の廃止が議論された⁽¹¹⁾が、2024年度まで「情報関係基礎」の出題は続けられた。その意義は大きいと考える。今後には総括の議論がされることが期待される。

参考文献

- (1) 角田博保：大学情報入試の概要，情報処理，Vol. 65, No. 2, pp. e1-e5 (2024).
- (2) 小宮常康：国公立大学における情報入試，情報処理，Vol. 65, No. 2, pp. e6-e9 (2024).
- (3) 谷聖一：私立大学における情報入試，情報処理，Vol. 65, No. 2, pp. e10-e13 (2024).
- (4) 赤澤紀子ほか：個別入試への「情報」の出題，令和6年度全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会(第19回)自主企画セッション(2024).
- (5) 中野由章ほか：大学入試センター試験「情報関係基礎」の問題分類と高等学校共通教科情報科との対応，情報教育シンポジウム SSS2021 論文集，pp. 100-105 (2021).
- (6) 通産省公報1993年5月14日付：産業構造審議会情報産業部会情報化人材対策小委員会最終報告(1993).
- (7) 情報化白書1994：豊かな情報化社会の実現に向かって-新しい情報化人材への期待-(1994).
- (8) 昭和60年度共通第1次学力試験の出題教科・科目等の出題方法等-旧教育課程履修者(既卒者)に対する措置-，大学入試フォーラム，No. 2, pp. 19-22 (1983).
- (9) 橋本克久：「平成9年度からの大学入試センター試験の出題教科・科目等について」(最終まとめ)に関する解説，大学入試フォーラム，No. 18, pp. 161-177 (1995).
- (10) 文部省1994年6月15日付「文高大第150号」：高等学校学習指導要領の改訂に伴う平成9年度以後の学力検査について(1994).
- (11) 笈捷彦，中山泰一：情報入試のすゝめ，情報処理，Vol. 59, No. 7, pp. 632-635 (2018).